



ファームウェアバージョン:	R1.50.B067	
ハードウェアバージョン :	DGS-3420-28TC	A 2/ B 1
	DGS-3420-28SC	
	DGS-3420-26SC	
	DGS-3420-28PC	
	DGS-3420-52T	
	DGS-3420-52P	
発行日 :	2017/1/23	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
アップグレード手順 :	2
CLI (シリアルポート) を使用したアップグレード	2
Web-UI を使用したアップグレード	4
追加機能 :	7
MIB および D-View モジュールの変更点 :	7
コマンドラインインタフェースの変更点 :	7
修正した問題点 :	7
既知の問題 :	7

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：R1.50.B067	2017/1/23	DGS-3420-28TC DGS-3420-28SC DGS-3420-26SC DGS-3420-28PC DGS-3420-52T DGS-3420-52P	A2、B1

注意事項：

ハードウェアバージョン：B1 は、R1.50.B020 以降のファームウェアをサポートしています。
R1.50.B020 より前のファームウェアにダウングレードすると、スイッチは動作しません。

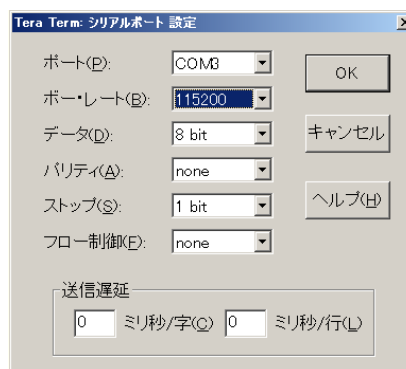
アップグレード手順：

アップグレードを行うには、CLI(シリアルポート)使用する、もしくは Web-UI から行うことができます。

CLI（シリアルポート）を使用したアップグレード

1. スwitchの電源を切り、RS-232 シリアルポート（コンソールポート）で PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：115200
- データビット：8
- パリティ：none
- ストップビット：1
- フロー制御：none



2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本スイッチのシリアルポートを RS-232 DB-9 ケーブルで接続します。
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められますが、管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていないので「enter」キーを 2 回押し、ログインします。
4. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
download firmware_fromTFTP <ipaddr> src_file <path_filename 64> dest_file <pathname 64>	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image {unit<unit_id>} <pathname 64> boot_up	Boot up イメージファイルの変更をします。
show boot_file	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。

以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

```
DGS-3420-28TC:admin#download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 src_file
DGS3420_Run_1_50_B067.had dest_file DGS3420_Run_1_50_B067.had
Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 src_file DGS3420_Run_1_50_B067.had dest_file
DGS3420_Run_1_50_B067.had
```

```
Connecting to server..... Done.
Download firmware..... Done. Do not power off!
Please wait, programming flash..... Done.
```

Success.

```
DGS-3420-28TC:admin#config firmware image DGS3420_Run_1_50_B067.had boot_up
Command: config firmware image DGS3420_Run_1_50_B067.had boot_up
```

Success.

```
DGS-3420-28TC:admin#show boot_file
Command: show boot_file
```

```
Bootup Firmware      : /c:/DGS3420_Run_1_50_B067.had
Bootup Configuration : /c:/config.cfg
```

```
DGS-3420-28PC:admin#reboot
Command: reboot
```

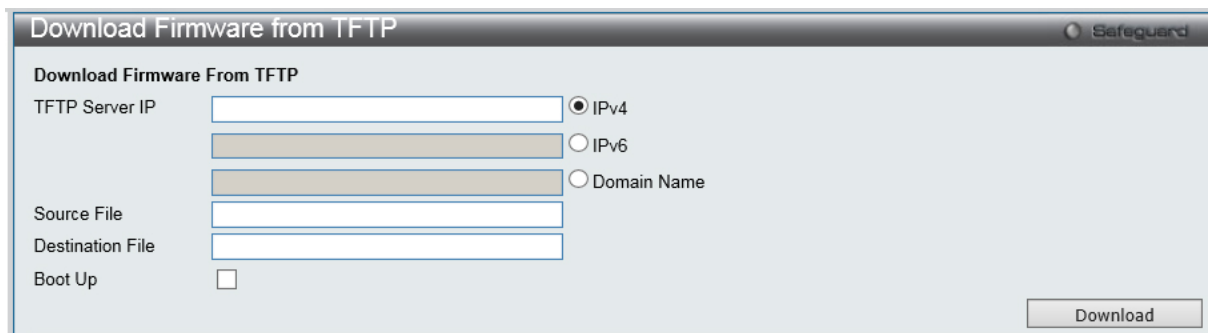
```
Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n)y
Please wait, the switch is rebooting...
```

注意 : スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

5. 上記のリブートが行われた後に、“show switch”コマンドを実行して、ファームウェアバージョンが正確に行われたことを確認してください。

Web-UIを使用したアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいてください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていないので「空白」でログインを行ってください。
5. スイッチのファームウェア更新を行うには、**Tools > Download Firmware from TFTP** の順にクリックし、必要な情報を入力後、「Download」ボタンをクリックします。



Download Firmware from TFTP

Download Firmware From TFTP

TFTP Server IP ☒ IPv4 ☐ IPv6 ☐ Domain Name

Source File

Destination File

Boot Up ☐

Download

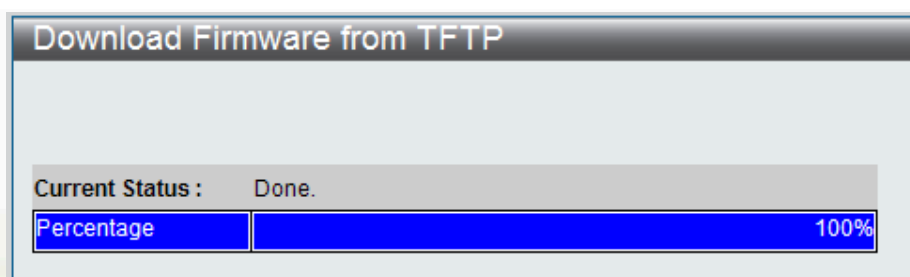
IPv4/IPv6 : IPv4 または IPv6 を選択します。

TFTP Server IP : TFTP サーバの IP アドレスを入力します。

Source File : ダウンロードするファームウェアのファイル名を入力します。

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

6. Current Status の値が 100%と表示されるまで待ちます。



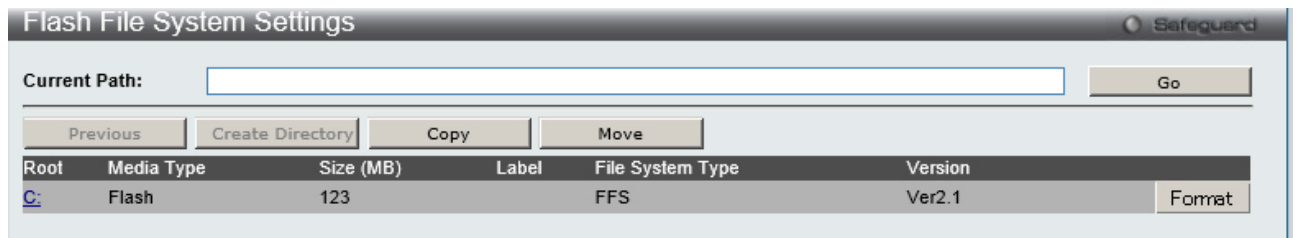
Download Firmware from TFTP

Current Status : Done.

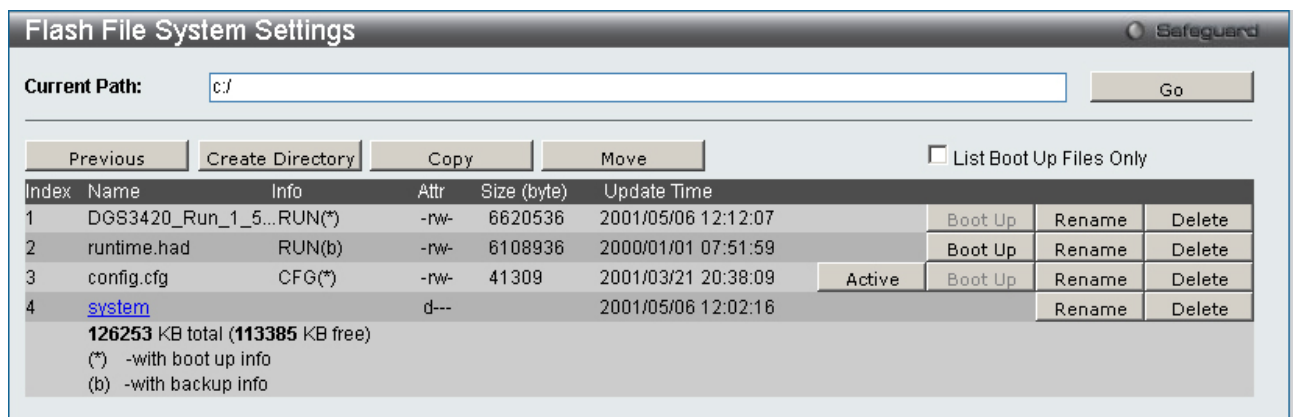
Percentage 100%

7. 次回のスイッチリブート時にブートアップを行うイメージが選択されているか確認するために、**Network Application > Flash File System Settings** の順にクリックします。

8. Root の C: をクリックします。

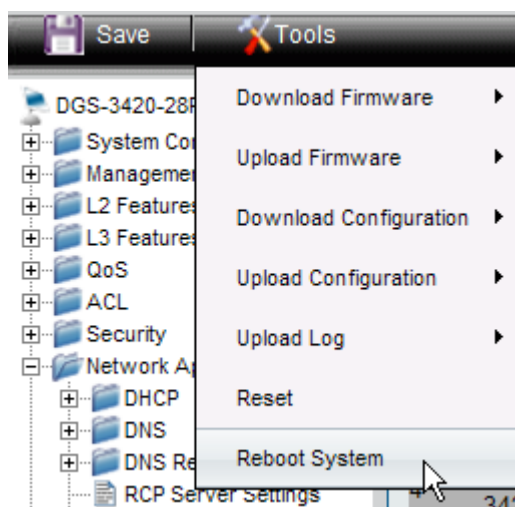


9. ファームウェアが無事にダウンロードされ、ブートアップイメージとして選択されているか否かを確認します。

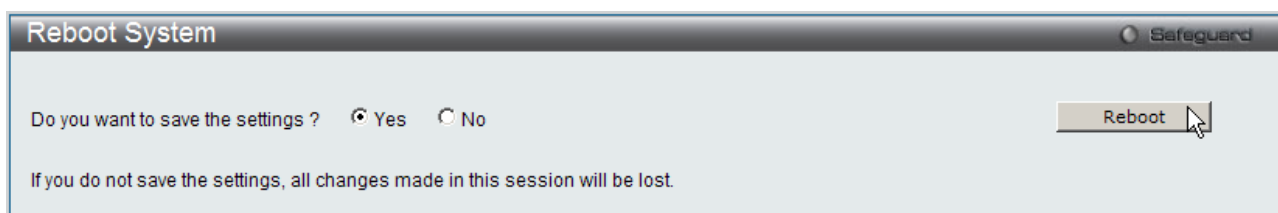


ブートアップイメージとしてファームウェアが設定されていない場合は、該当するイメージの行にある「Boot Up」ボタンをクリックし、ブートアップファイルとして設定します。

10. スイッチのリブートを行ないます。リブートを行なうには、**Tools > Reboot System** をクリックします。



11. 「Reboot」 ボタンをクリック後、「Proceed to save the configuration and reboot the switch?」 と表示されるので「OK」 ボタンをクリックし、スイッチを再起動してください。



注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

追加機能：

特になし

MIBおよびD-Viewモジュールの変更点：

特になし

コマンドラインインタフェースの変更点：

特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R1.50.B067	<ol style="list-style-type: none"> Firefox と Chrome において、HTTPS による Web UI への接続が出来ない問題を修正致しました。 Web 認証を有効にすると警告メッセージなしで SSL を無効化する問題を修正致しました。 Dos Prevention を無効化しているにも関わらず、Dos Prevention のログを有効化した場合に、誤って Dos Prevention が動作してしまう問題を修正致しました。 CPU 使用率が高くなったまま下がらないことがある問題を修正致しました。 Combo ポートで、使用中のポートと同じポート番号の Combo ポートを使用しようとする場合、使用中のポートのケーブルを抜き、ポート State コマンドで Disable し、Enable を行わないと使用できない問題を修正致しました。 PTP のトランスポートプロトコルを UDP に設定した場合に、Follow up パケットのタイムスタンプが 0 になる問題を修正致しました。 QinQ を有効にすると IGMP スヌーピングが動作しない問題を修正致しました。 CFM 機能が有効化されている場合に、いくつかのコマンドを実行しようとする则表示が停止する問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R1.50.B067	<ol style="list-style-type: none"> Combo Port において、SFP の RX が信号を受信している状態では、SFP Port、Copper Port とも Link Up しません。 ケーブル診断機能において、実行中に Link Down します。 ケーブル診断機能において、Link 速度が 100Mbps(対向が FE のみサポートの PHY) の場合に診断結果が "Short" と表示されます。 Web UI による操作中に稀に再起動する場合がある問題。 Internet Explorer で、「Network Application」>「Flash File System Settings」>「C:/」の画面が正しく表示されない場合がある問題。

Copyright 2006-2017 D-Link Japan K.K.